

牧之原市教育大綱見直し（案）についての御意見・御質問に対する回答

意見別に回答を記載しています。

No.	御意見・御質問	回答（市の考え方）
1	<p>児童生徒数の減少や学校施設の老朽化、維持管理のコスト等を考えれば、学校が再編されることは時代の流れだと思えます。安心・安全で学びやすく、大綱にもあるような、ICT 環境を充実させて、日本の将来を背負っていく子どものために、楽しみながら学ぶことができる魅力ある教育や、そのための環境整備を望みます。</p>	<p>市の児童生徒数は、人口の減少に比例して、2000 年からの 20 年間で半減している状況にあり、これまでの出生数から見ても今後も減少していくことが想定されています。</p> <p>このような中で、学校の小規模化が一層進むことから、学校が安心・安全で学びやすく、通いたい・通わせたいと思える施設としてあり続けるよう、再編計画を策定しています。</p> <p>今後も、継続して子どもたちに「次代を切り拓く力」をつけてもらえるよう、教育及び環境の整備に取り組んでいきます。</p>
2	<p>市内の小中学校では、地域の方が深く関わり、児童生徒も地域で活発に活動しているように思います。子どものため、保護者のため、地域の皆さんのための学校となるように、地域と連携して都会では経験できないことを体験させてあげたいです。地域の人たちが児童生徒と一緒に学べたり、成長を見ることが、学校を一緒につくっていくことが大切だと思います。</p>	<p>本市には、ご意見にあるように地域の人たちが学校に深く関わり、子どもたちも地域で活発に活動しているという特徴があります。</p> <p>学校と地域との関わり方の度合いについては、全国平均より高い状況にありますが、地域によって差があることや牧之原市としての一体感を醸成することが必要だと感じています。</p> <p>今後は、地域が関わる仕組みを更に発展させコミュニティ・スクールの体制を構築を進めていきたいと考えております。</p>
3	<p>読書は人の心を豊かにすると思います。相良地域にできる図書館は、おはなし会や行事に多くの市民が集まる、誰もが気軽に行くことができる身近な場所になってほしいと思います。</p> <p>また、蔵書が充実していて、ベストセラーや新刊等のネット予約ができるような利便性の高い図書館となることを望みます。</p>	<p>幼児から高齢者まであらゆる人々が気軽に利用でき、図書館として機能的で快適な空間で、市民の皆さんが親しみをもち愛着を感じていただけるような図書館を目指します。</p> <p>図書館では、利用者からのリクエストがあった図書を購入するだけでなく、市民の教養や調査研究の手助けとなる「地域の情報センター」としての役割を果たすよう、蔵書の充実を図っています。今後も市民のさまざまな要望に即した豊富な蔵書の充実に努めます。</p>